2020年12月7日

各　位

会 社 名　株式会社トランスジェニック
代表者名　代表取締役社長　福 永　健 司
（コード番号 2342 東証マザーズ）
問合せ先　取　締　役　船 橋　泰
（電 話 番 号　03-6551-2601）

当社子会社の(株)安評センターの韓国における非臨床試験受託営業活動開始に関するお知らせ

当社子会社の株式会社安評センター(代表取締役社長：福永 健司、静岡県磐田市、以下、安評センター）は、このたび韓国のKRCC Co., LTD.（CEO/President：Henry（HyunIl）Shin、Sowon-si, Gyeonggi-do,Republic of Korea、以下、KRCC）と、韓国における非臨床試験受託活動に関する代理店契約を締結いたしました。また、当社創薬支援グループが有する分子標的薬※1や免疫チェックポイント阻害剤※2の研究開発に必要なFACS、遺伝子解析及び分子病理技術等のサービスに関しても、今後、KRCCを通じてバイオ医薬品開発先進国である韓国において、営業活動を開始いたしますので、お知らせいたします。

1. 経緯

安評センターは、設立来40年間に蓄積された実績、信頼を背景に、充実したGLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）※3及びAAALAC（国際実験動物ケア評価認証協会）認証※4施設での高い科学性と信頼性に立脚した医薬品，食品，食品添加物，農薬，飼料添加物，一般工業化学物質等の化学物質の安全性試験のデータを提供しています。また、当社創薬支援グループにおいては、この他、薬効薬理試験、遺伝子解析、分子病理、及び遺伝子改変マウス作製に関する受託サービスを展開しています。

一方、KRCCは、国内外のCRO企業の代理店ビジネスを展開し、韓国バイオ医薬品業界に広いネットワークを有しています。

韓国のバイオ医薬品産業は急激な成長を遂げており、韓国政府も全面的な支援を表明しています。韓国には、約230社のGMP※5施設の研究所を有する製薬企業があり、それを受けてCRO市場は有望な市場として注目され、その市場規模は非臨床試験のみで600億円とも推測されています。

安評センター及び当社創薬支援グループは、KRCCが有する韓国製薬企業の営業網を通じて、非臨床試験受託、モデルマウスの販売や各種サービスの提供を推進し、創薬支援事業の拡大を図ります。

2. KRCC社概要

名　　称：KRCC Co., Ltd.
本　　社：12F Gyeonggi Bio-Center,147 Gwanggyo-ro, Yeoungtong-gu,
　　Sowon-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea
代 表 者：CEO/President　Henry（HyunIl）Shin
設　　立：2002年1月

資 本 金：1億ウォン（10百万円相当）
事業内容：RI compound合成、新薬開発総合consulting、国内外のCROの代理店業務

3. 今後の見通し

本代理店契約が2021年3月期業績に与える影響はございません。しかしながら、韓国市場の開拓を通じて中長期的な当社グループの創薬支援事業の成長拡大に寄与するものと考えております。

ご参考：　※1　分子標的薬

分子標的薬とは、従前の薬が異常細胞だけでなく正常細胞を攻撃してしまうのに対し、病気の原因に関わる特定の分子だけを選んで攻撃することから、副作用を抑えると考えられています。

※2　免疫チェックポイント阻害剤

免疫チェックポイント阻害薬は、免疫ががん細胞を攻撃する力を保つ薬です。
免疫細胞であるT細胞に異物を攻撃することにブレーキをかける仕組みを「免疫チェックポイント」といい、免疫チェックポイント阻害薬は、T細胞やがん細胞のアンテナに作用して、免疫にブレーキがかかるのを防ぎます。

※3　GLP（Good Laboratory Practice：優良試験所基準）

GLP制度とは、医薬品、化学物質、農薬等の安全性試験を行う試験施設が、試験計画・実施などに関するすべての要素・過程について定められた手順を遵守し、試験の信頼性を確保することです。

※4　AAALAC International （The Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care International/国際実験動物ケア評価認証協会）

AALAC Internationalは、世界で唯一の国際的な第三者評価機関で、3R（Reduction（使用する動物数の削減）、Replacement（動物を使用しない実験への置き換え）、Refinement（動物の苦痛軽減）の原則を踏まえ、科学社会における動物の人道的な取り扱いを推進しています。世界中の900を超える医薬品およびバイオ技術企業、大学、病院およびその他の研究機関がこの認証を取得しており、動物実験及び動物管理が倫理的に実施されていることの実証として認められています。

※5　GMP（Good Manufacturing Practice：医薬品の製造管理及び品質管理の基準）

GMPは、医薬品を製造する過程について適切に管理し、品質の良い優れた医薬品を恒常的に製造するための基準です。

以上